

平成 28 年度「マハゼの棲み処調査」結果速報

【調査時期】

平成 28 年 6 月～12 月：一般調査

平成 28 年 8 月 31 日、9 月 30 日：朝潮運河集中調査

【調査結果概要】

(1) 一般調査

一般の方に呼びかけ、ファックスにて釣果を収集し、マハゼの全長データを得た。12 月のデータは集計できていないが、5-11 月のデータが収取できた。地点ごとのデータを集約し、東京湾全体の状況を一覧にすると、以下のとおりである。

5 月には昨年からの越冬群（ヒネハゼ）と見られる 110 mm を中央値とする大型の年級群が見られる。また、11 月には 80 mm を中央値とする春～夏産卵群とみられる小型の年級群が見られる。この小型年級群は 10 月にも混入していることが推察される。冬～春の産卵群（いわゆるデキハゼ）とみられる群が 6 月から 10 月にかけて主体であり、71 mm から 112 mm と、月 10 mm 程度の成長が確認できる。

全長(mm)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	総計
50	4	10	3					17
60	5	15	5	3			2	30
70	5	20	21	18		5	19	88
80	6	19	22	57	6	15	32	157
90	17	5	11	65	29	36	24	187
100	18		4	34	21	34	16	127
110	32		1	22	12	28	11	106
120	14		1	8	12	35	6	76
130	6	2	4	1	6	26	2	47
140	1			1	6	15	1	24
150	2		1		1	6		10
160	1					7		8
170					1	3	1	5
総計	111	71	73	209	94	210	114	882
平均全長	101	71	82	90	105	112	90	

(2) 朝潮運河集中調査

地域ごとの詳細な調査として、東京水産振興会による朝潮運河の集中調査を行った。小型遊漁船を貸し切り、朝潮運河、有明北などを中心に釣り調査を実施した。全長をその場で計測すると共に、数個体から数十個体については体調及び質重量についても計測した。

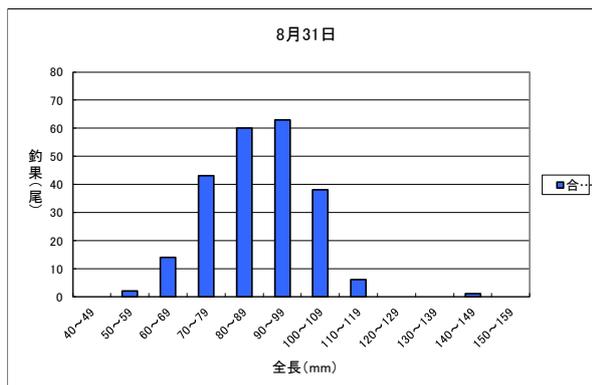
調査は、8 月 31 日と 9 月 30 日に実施し、その集計表を以下に示す。

平成27年8月

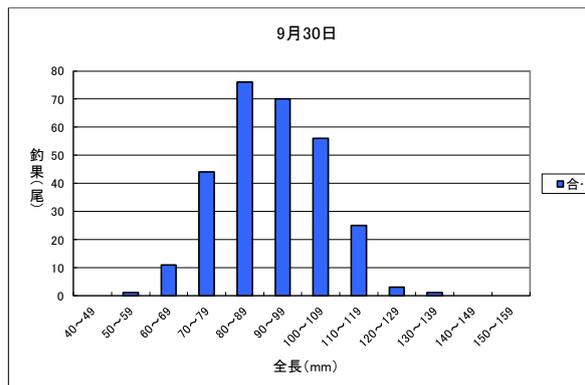
調査点		体長(mm)	全長(mm)	湿重量(g)	備考
朝潮運河①浅場 個体数:71	最小	53	50	2.32	9個体の体長および湿重量を計測した
	最大	84	140	7.77	
	平均	72	86	5.66	
朝潮運河② 個体数:7	最小		68		全長のみ計測した
	最大		98		
	平均		85		
朝潮運河④浅場 個体数:68	最小	61	57	3.48	9個体の体長および湿重量を計測した
	最大	92	115	11.07	
	平均	74	88	6.35	
有明北 個体数:81	最小	57	68	3.21	10個体の体長および湿重量を計測した
	最大	85	116	9.94	
	平均	77	89	7.42	
全地域 個体数:227	最小	53	50	2.32	29個体の体長および湿重量を計測した
	最大	92	140	11.07	
	平均	74	88	6.51	

平成28年9月

調査点		体長(mm)	全長(mm)	湿重量(g)	備考
朝潮運河①浅場 個体数:71	最小	67	74	5.00	10個体の体長および湿重量を計測した
	最大	88	134	11.80	
	平均	74	93	6.65	
朝潮運河①深場 個体数:8	最小	68	85	3.90	8個体の体長および湿重量を計測した
	最大	86	109	9.00	
	平均	77	97	6.26	
朝潮運河② 個体数:26	最小	52	64	1.90	10個体の体長および湿重量を計測した
	最大	86	114	10.00	
	平均	63	84	3.91	
朝潮運河①浅場 個体数:1	最小		81		全長のみ計測した
	最大		81		
	平均		81		
朝潮運河④浅場 個体数:124	最小	56	64	2.90	10個体の体長および湿重量を計測した
	最大	100	126	12.60	
	平均	71	93	5.51	
朝潮運河④深場 個体数:19	最小	54	69	2.30	10個体の体長および湿重量を計測した
	最大	81	110	7.60	
	平均	70	89	5.01	
有明北 個体数:57	最小	54	56	1.90	10個体の体長および湿重量を計測した
	最大	93	116	9.70	
	平均	75	91	6.31	
全地域 個体数:287	最小	52	56	1.90	58個体の体長および湿重量を計測した
	最大	100	134	12.60	
	平均	71	92	5.59	

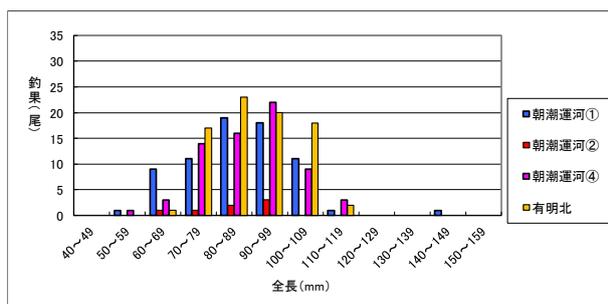


調査地点全体での全長分布（8月）

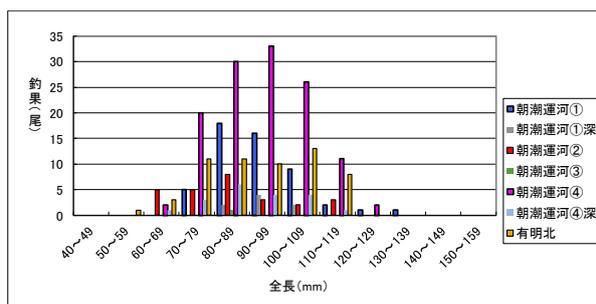


調査地点全体での全長分布（9月）

8月と9月を比較すると、分布形に有意な差がなく、全長90mm前後のマハゼが主体の単一の年級群に見える。しかし、地点ごとに分布をかき分けると同じ朝潮運河でも既存の浅場で小型個体が多く、埋め戻し浅場では若干大型の個体に分布が偏っていることが示唆されるデータとなっている。有明北では、8月の全長分布がなだらかであり、9月の分布からは70-79mm、100-109mmをモードとする2つの年級群が示唆された。

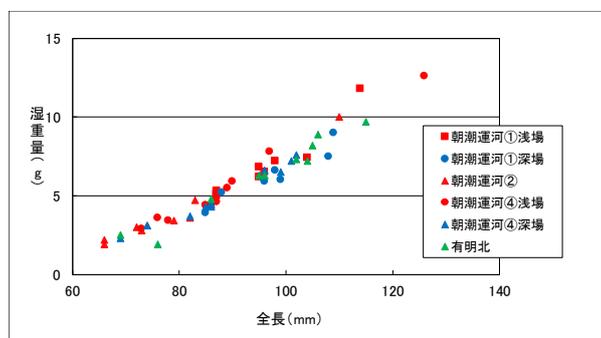


調査地点毎の全長分布（8月）



調査地点毎の全長分布（9月）

このことは、朝潮運河は1系統の群が加入してきて大きくなったら他に転出していくこと、有明北には、加入群が2系統存在することを示していると推察される。



全長と湿重量の相関図（9月調査）

全長と湿重量の相関図からは、各群を区別する明確な情報は得られなかった。全長の伸長にあわせて湿重量も単調に増加していた。

以上